

## 2016年 JMRC 中部・近畿合同ラリー一部会 議事録

日 時：2016年8月21日（日）13時～17時

場 所：鈴鹿サーキットホテル ミーティングルーム2

出席者：

[近畿ラリー一部会] 小牧副部会長、松岡、藤田

[中部ラリー一部会] 金子部会長、松浦、高橋、新堂、

[主催クラブ] 長坂、米谷、橋本（以上MASC）、竜田、古川（以上ON!）

澤田（SHIROKIYA）、成瀬（AND）

議 題：

1) 2017年DE地区シリーズ日程調整

2) 2017年DE地区シリーズ共通規則内容すり合わせ

（1）タイヤ規制について

（2）タイム計測の計測単位について

（3）LEDタイプの補助灯について

（4）参加申し込み書類\_レキ誓約書の要否について

（5）インカー動画の公開規制について

3) その他

（1）地区戦魅力の向上のための提案

### 【議 事】

#### 1) 2017年DE地区シリーズ日程調整

##### 〈決定事項〉

●下記日程(案)にて合意。各クラブはカレンダー申請を行う。

- MASC : 4/22-23※<sup>1</sup> or 5/27-28※<sup>2</sup> ※JRC久万高原の日程に応じて、申請日を決定する
  - 4/28-30の場合 ⇒ ※1
  - 5/19-21の場合 ⇒ ※2
- SYMPHONY : 5/13-14※<sup>1</sup> or 4/29-30※<sup>2</sup>
- ON! : 6/25-26
- AND : 7/22-23
- OECU-AC : 8/26-27
- Team Shindai : 9/22-23
- SHIROKIYA : 10/21-22

●TGRラリーのエントラントのDE地区戦参戦、及び、オフィシャル確保の観点から、西日本地域で開催されるTGRラリーと、DE地区戦の開催日程が重なることは好ましくない。  
→ 本日討議のDE地区日程を展開し、TRGラリー開催日程に考慮頂けるよう、働きかける。  
(振興委員会にて。対応：金子部会長、梅津部会長)

#### 〈その他議事〉

- ・2017年カレンダー申請締め切り日：9/15
- ・翌日9/16のJAFラリー部会日程調整会議にて、2017年日程が決定される。
- ・JAFラリー会議には、中部：金子部会長・近畿：小牧委員が参加予定。
- ・会議にて、申請日程に対して変更調整が必要になった場合には、  
金子部会長or小牧委員より、主催クラブ代表に電話連絡を入れる。  
各クラブ代表者は、電話着信に注意すること。
- ・2017年オールスター戦の開催概要は下記。
  - 開催予定日：11/18-19
  - 主催クラブ：TEAM-MORE
- ・その他、中部地区でのTGR新規開催ラリーとして、MASC長坂氏より、下記提起有り。
- ・静岡県裾野市でのTGRラリー　　主催・主幹含め詳細は調整中  
MASC長坂氏と連携を取りながら、中部ラリー部会にて調整・対応を進める。
  - 開催地域　：静岡県裾野市周辺
  - 開催予定日：9/9-10

#### 【議事】

##### 2) 2017年DE地区シリーズ共通規則内容すり合わせ

- (1) タイヤ規制について
- (2) タイム計測の計測単位について
- (3) LEDタイプの補助灯について
- (4) 参加申し込み書類\_レキ誓約書の要否について
- (5) インカー動画の公開規制について

##### (1) タイヤ規制について

#### 〈議事〉

- ・Sタイヤ禁止の狙いの踏襲、一部エントラントからのヒアリング内容等を踏まえ、所謂86レース用タイヤの使用規制について討議した。  
その結果、規制要望の主因であるコストパフォーマンスについて、パフォーマンス向上傾向が確認されるため、Sタイヤ禁止と判断した狙いが、必ずしも、現時点の86レース用タイヤに当てはまる状況ではないと判断し、2017年シリーズ戦における86レース用タイヤの使用は禁止しないとする方針を合意した。
- ・但し、今後のタイヤ開発において、コストパフォーマンスの低下がみられ、エントラント減に直結するような状況になった場合は、再度規制について討議する。
- ・主な意見は下記の通り。
  - Sタイヤ禁止の狙いはコスト抑制。その狙いを踏襲するならば、86レース用タイヤの使用は禁止するべきとの意見有り。
  - 86レース用タイヤのコストパフォーマンス（単価とライフのバランス）について、

販売開始当初はSタイヤ同等との意見が多かったが、流通が進んだ現時点では、コストパフォーマンスが向上したとの意見も多い。

- 規制案：ラリータイヤ限定とする案

[メリット]

- ・規制内容が明瞭
- ・タイヤ変更がないため、TGR ラリーのエントラントの DE 地区戦参加が容易

[デメリット]

- ・現 DE 地区エントラントに対して、足回り等のリセッティングが必要
- ・ラジアルタイヤと比較し、ロードノイズ増大の懸念有り

- 規制案：全日本ラリー規定と同一規定とする

[メリット]

- ・規制内容が明瞭

[デメリット]

- ・DE4,5 クラスは、RPN、RN、RJ、RF 車両が混戦するため、RPN 車両のみラベリングタイヤ指定となり、公平性を欠く懸念が有る。
- ・ターマックラリーにおいて、ラリータイヤ使用が規制される

〈決定事項〉

●2016 年中部及び近畿ラリーシリーズ規定の内容を、2017 年も継続採用する。

通称 S タイヤの使用禁止は継続とし、 所謂 86 レース用タイヤの使用は許可する。

(2) タイム計測の計測単位について

〈議事〉

- ・各ラリーにおいて、1/10 秒単位で実施している現状を、特規に明記する。

〈決定事項〉

● “スペシャルステージ区間の計時は、1/10 秒単位で行う”旨をシリーズ規定に明記する。

(3) L E D タイプの補助灯について

〈議事〉

- ・ここ数年で装着車両が増加している、バータイプの 1 本物の L E D 補助灯に対して、現状、全日本ラリー含め、形状含めた使用規定を明記している規定がない。
- ・2017 年 DE 地区は、基本的に“道路運送車両の保安基準”及び JAF “国内競技車両規定”を参考に、ラリー参加車両の出走可否を、各ラリーにおいて判断することとする。  
特に、下記特徴を持つ車両の出走に対しては、各ラリーにおいて留意すること。

- 左右同数で有ること(国内競技車両規定)

→ 一本物の L E D バータイプを使用する車両

- 車体の外形その他自動車の形状は、鋭い突起がないこと (道路運送車両の保安基準)  
→ L E D バーの取り付け金具が剥き出しである車両

- ・今後のエントリー車両の状況を確認しながら、必要性が高まれば、別途議論する。

〈決定事項〉

- 各ラリーの車検及び審査委員会にて、該当車両の出走可否を判断して頂く。

#### (4) 参加申し込み書類 レキ誓約書の要否について

##### 〈議事〉

- ・申し込み書類に対し、エントラントの記載工数低減や、主催クラブの事務処理工数低減を目的に、レキ誓約書の記載内容を、参加申込書に統一出来ないかを、討議した。

##### 〈決定事項〉

- 各地区部会にて、本議題を持ち帰り、別途部会にて要否を討議の上、別途再審議する。

#### (5) インカーモーションの公開規制について

##### 〈議事〉

- ・ラリー開催に対する地域の理解を妨げる可能性に繋がるインカーモーション（特に、クラッシュシーンを含む動画）の一般公開に対して、主催クラブからエントラントに制限する規定を設定したいという意見に対し、討議した。
- ・必要あれば、特別規則書に明記することとし、規則に織り込むかは継続討議とする。

##### 〈決定事項〉

- 各部会にて、本議題を持ち帰り、別途部会にて要否を討議の上、別途再審議する。

### 【議 事】

#### 3) その他

##### (1) 地区戦魅力の向上のための提案

##### 〈議事〉

- ・参加者数の増加に成功している TGR ラリーでは、参加者による雰囲気作りが、競技会そのもののイメージアップに繋がっている事例がある。
- ・DE 地区シリーズ戦の参加者増加に繋がる試みの一つとして、競技会レベルに見合った雰囲気作りに取り組むことの必要性を、討議した。

##### 〈決定事項〉

- 各部会にて、エントラントに対して、表彰式出席の際の服装について、“レーシングスーツもしくは統一感のある服装を推奨する”旨のアナウンスを適宜発信する試みを実施する。

以上